

本別町商工会 平成 27 年度経営発達支援計画に係る事業評価報告

1. 事業評価実施日 平成 28 年 6 月 28 日 (火) 16 時

2. 実施場所 本別町商工会館 2 階研修室

3. 出席者氏名

- ◆本別町商工会 ～岡崎 勉 (会長)
鈴木 欣哉 (副会長)、朝日 基光 (副会長)
伊藤 英昭 (総務経改委員長)
- ◆本別町 ～高橋 哲也 (本別町企画振興課長)
- ◆金融機関 ～小林 清明 (北洋銀行本別支店長)
～梶谷 徹也 (帯広信用金庫本別支店長)

4. 事業評価の経過

岡崎会長が議長となり、平成 27 年度の経営発達支援事業の取り組みについて事務局担当へ説明をせしめた。

事務局は、経営発達支援計画の認定までの経過、同計画の内容について説明をした。

引き続き議長は平成 27 年度における同事業実施結果についても事務局へ説明をせしめた。

事務局は、次の主要 6 項目について実施内容と実績数値等について逐次説明報告を行った。

1. 地域の経済動向調査に関すること

①地域経済動向調査 (当初計画件数: 1 件、実施件数: 2 件)

～平成 27 年度は 4 月と 10 月に実施した「プレミアム商品券」の発売に際して同商品券の利用状況を業種別・規模別に分類しその利用度や傾向について調査分析を計 2 回行った。分析結果についてはグラフ化を行い日常の支援業務、各種会合、広報誌を通じて情報提供した。

2. 経営状況の分析に関すること

②経営状況分析事業者数 (当初計画数: 30 者、実施件数: 67 者)

～決算及び税務申告支援業務に際して実地の決算数値を活用し過年度との比較を含め財務の面から経営分析を行った。分析結果は各事業者へ伝達し以降の支援業務に係る基礎資料とする。

3. 事業計画策定支援に関すること

③事業計画策定事業者数 (当初計画数: 30 者、実施件数: 20 者)

～「小規模事業者持続化補助金」並びに「本別町起業家等支援事業」の申請支援を通して合計 20 者に対しその計画策定を支援した。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

④フォローアップ実施事業者数 (当初計画数: 30 者、実施件数: 16 者)

⑤フォローアップ延べ回数 (当初計画数: 100 回、実施件数: 119 回)

～前述の計画策定者を中心に、計画策定から計画遂行時のフォローアップも含めて、16 者に対し累計 119 回の支援を行った。

5. 需要動向調査に関すること

⑥需要動向調査件数（当初計画数：2件、実施件数：1件）

～当会運営のネット通販サイト「ほんべつまるごと販売」における購入履歴 97 件を対象にその属性(年齢、性別、購入頻度・単価等)について調査分析を行い、同出店者へフィードバックを行った。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

⑦販路開拓支援事業者数（当初計画数：20者、実施件数：11者）

～前述ネット通販サイト出店事業者(11者)を中心にネット通販の可能性について情報提供等を継続的に実施するとともに大規模な展示会・商談会へ職員を派遣し販路開拓の可能性について調査研究を行った。

事務局は各事業の説明後、当初計画と比べてその達成度合に応じて次の通り自己評価した旨報告した。

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. 地域の経済動向調査に関すること | …自己評価：A |
| 2. 経営状況の分析に関すること | …自己評価：A |
| 3. 事業計画策定支援に関すること | …自己評価：B |
| 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること | …自己評価：A |
| 5. 需要動向調査に関すること | …自己評価：C |
| 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること | …自己評価：C |

議長は、以上の説明をふまえて出席者へ意見と評価を諮った。

出席者は全員一致で「事務局側の自己評価と同様の評価である」とのことであった。

個別の意見提言として、

本別町からは「今後も引続き町の施策（起業家支援事業、町制度資金等）を活用しての事業推進を求めるとともに町との連携協力も願う」との意見が出された。

金融機関からも「今後も町制度資金の円滑な斡旋等資金需要に関する連携協力を図る」旨意見が出された。

次年度以降も引続き当初計画に沿って事業を実施し、その成果を整理し自己評価を行うとともに他者による評価を仰ぐことを確認した。